

ベリーズ犯罪等発生状況（令和7年11月分）

[殺傷事件・銃撃事件関連]

11月4日【殺人未遂事件】 午後8時30分頃、オレンジウォーク郡のオーガスト・パイン・リッジ村出身の男性（30代）が覆面の襲撃者2名にマチェテ（山刀）で襲われる事件が発生した。被害者男性は頭部などに切り傷を負い意識不明で発見され病院へ搬送された。警察は被害者が何者かに標的にされた可能性があるとして捜査を進めている。

11月9日【刺傷事件】 午後8時頃、オレンジウォーク郡サン・ラザロ村で協会のイベントから帰宅途中の20代男性Aの首に別の男性B（後に特定）がナイフを突きつける事件が発生した。男性Aは自宅に逃げ込んだが、男性Bが自宅まで追いかけてきたため、マチェテ（山刀）で応戦し、男性Bの顔に切り傷を負わせた。その後、男性Aは逃走し、現在警察が行方を追っている。

11月14日【銃撃事件】 午後8時頃、ベリーズ市フィリップ・ゴールドソン・ハイウェイ沿いのソーシャルラウンジ付近で銃撃事件が発生した。警察の捜査で現場に9ミリの使用済み弾薬4発と市内の橋の付近でナンバープレートの無い車が発見された。車内にいた3人の男性を事情聴取のため拘束、所持品検査をしたところ、認可済みの9ミリグロック拳銃と弾薬を所持が確認されたため、男性らはさらなる捜査のためそのまま警察署へ連行された。この事件に被害者は現在のところ確認されていない。

11月14日【殺人事件】 午後9時頃、ダングリガ町で20代の男性が自宅で子供と過ごしていたところ、覆面の男性から銃撃され死亡する事件が発生した。被害男性には複数の銃創が確認された。なお、現場からは14発の空薬莖が発見されたため、その内数発が致命傷を負わせたとしてみている。警察はすでに容疑者1名を特定、拘束している。

11月14日【殺人事件】 午後9時50分頃、ベリーズ市北部エリアで30代男性が銃撃され死亡する事件が発生した。目撃者の証言では2人の覆面の男が被害者の自宅アパートの敷地内に侵入し、数回発砲したとのこと。警察は現場周辺捜査で9ミリの拳銃を2丁発見し事件に使用されたか鑑定する予定である。なお、被害男性は最近刑務所から釈放され、殺人罪に関する控訴を行っていたため、その事件の関係者が犯人の可能性も含め捜査を進めている。

11月17日【銃撃事件】 午後11時30分頃、プンタ・ゴルダ町にて40代と20代の男性2名が銃撃される事件が発生した。警察は20代の男性を事情聴取のため拘束してい

たが、十分な証拠が無かったため起訴されず釈放された。警察の捜査により起訴に必要な証拠が集まったため、警察によって指名手配された。その後、別の村にて逮捕され殺人未遂容疑で起訴された。

1 1月22日【銃殺事件】 午前0時30分頃、パトロール中の警察が複数回の発砲音を聞き現場に駆けつけたところ20代の男性の遺体を発見した。警察によると、被害者がバイクに乗り移動していたところ、3人の男が被害者に数回発砲し致命傷を負わしたとのこと。現在、警察は現場付近の警察の監視カメラの映像などを確認しつつ捜査を進めている。なお、被害者は過去に殺人容疑で起訴されていた。

1 1月30日【刺傷事件】 午後、オレンジウオーク郡ギニア・グラス村の商店において、男性が店員にナイフを突きつけ、怪我を負わせる事件が発生した。店員が店の入口付近で接客していたところ、近づいてきた男がナイフを取り出し突然刺そうとした。店員は自身の近くにあったお菓子の箱を使い、男性の攻撃を防いだため、体にナイフが刺さることはなかったが、腕に軽傷を負った。容疑者の男は逃走したため、現在警察が行方を追っている。

【強盗事件・窃盗事件関連】

1 1月4日【強盗事件】 午前11時頃、オレンジウオーク郡ベリーズ・コロザル通りで大膽かつ計画的な強盗が発生した。通報を受けた警察が到着すると、現場にはGMCキャニオンの2ドアピックアップトラックが道路脇に停車していた。車内にいた配送業者の従業員2名は警察に対し銀行へ現金の預け入れに向かう途中、オートバイクに乗った2人の男に襲われたと述べた。犯人らは拳銃で脅し、現金と小切手が入った2つの鞆を奪い現場から逃走した。現在も捜査中であり、奪われた現金などは回収されていない。

1 1月5日【強盗事件】 午前2時30分、ベリーズ郡内のフィリップ・ゴールドソン・ハイウェイ沿いにあるガソリンスタンドにて強盗事件が発生した。事件発生時刻、警備員がガソリンスタンドの正面入口前に座っていたところ覆面をした5人組（内3名は銃器所持）に襲われた。犯人グループの内、4人は建物内へ侵入し、残りの一人は警備員の監視のため建物外に残った。約10分後、犯人らは現金が入った金属製の金庫と警備員の携帯電話を奪い逃走した。警察は10月末に起きた、別のガソリンスタンドを狙った強盗事件も含め捜査中である。

1 1月16日【強盗事件】 午後1時頃、ベリーズ市内で強盗事件が発生した。警察によると、店員が配達物を店内に入れるため、店舗の防犯用鉄格子を開けたところ、覆面をした4

人の男が店内に押し入り、金属製の防犯シャッターを下ろした。犯人らは、従業員達を結束バンドで縛り、口をテープでふさいだ後、店内を荒し、商品と現金（被害額不明）を持ち去った。現在も捜査中であり、奪われた現金などは回収されていない。

11月21日【窃盗事件】 午前8時頃、ダングリガ町にあるベリーズ政府の財務局支店から少額の現金入り金庫が盗まれた。同支店からは、昨年にも約BZ\$4万（約3百万円）が盗まれており、今回で2度目の被害となった。現在、警察が近隣住民から話を聞くなどして、捜査を進めている。

【違法薬物・違法銃器類関連】

11月3日【違法薬物吸引器具所持】 ベリーズ市に在住する60代男性が、違法薬物吸引器具（クラック・パイプ）所持の疑いで起訴された。容疑者は罪状を認めたため、地裁判事は非拘禁刑とし、罰金BZ\$205（約1万5千円）を支払うよう命じた。被告は2025年12月15日までに罰金を支払わなければ、1ヶ月の懲役刑となる。

11月5日【違法薬物】 早朝、オレンジウォーク町アスンシオン通りの住宅で警察が家宅捜索を実施した後、違法薬物所持の容疑でこの家に住む住民2名（44歳、20歳）を逮捕、起訴した。この住居からは、所持規定量（10g）を越える22gの大麻が発見された。警察からの事情聴取に対して、容疑者らは黙秘権を行使している。

11月9日【違法薬物】 未明、ベリーズ郡レディビル村において、違法薬物所持していた男性が逮捕された。パトロール中の警察が同村に在住する40代男性に対し、違法銃器・薬物所持の捜査をしていたところ、男性のズボンからクラックコカインと思われる2つの結晶体が発見された。容疑者は、違法薬物の所持を認めたため、違法薬物所持の容疑で起訴された。地裁判事は非拘禁刑とし罰金BZ\$155（約1万1千円）を支払うよう命じた。容疑者は2025年12月30日までに罰金を支払わなければ、1ヶ月の懲役刑となる。

11月10日【違法薬物】 未明、フィリップ・ゴールドソン国際空港において、違法薬物密輸の容疑でアメリカ国籍の男性が逮捕された。テキサス州在住の男性は、所持規定量（10g）を越える387グラムのマリファナをベリーズへ密輸したとしてBZ\$2,700（約20万2500円）の罰金となった。この男性は今年2月にもアメリカテキサス州で大麻2オンス（約56.7グラム）所持の容疑で逮捕されていた。

11月19日【違法薬物】 午後8時頃、オレンジウォーク警察が家庭内トラブルの通報を

受け現地へ駆けつけた際、対応した警察官が大麻らしき強い匂いを感じ建物内を緊急捜索したところ、家主のカバンの中から大麻と疑われる植物が見つかった。また、別のバックからも同様の植物が発見されたため、警察は家主を逮捕し、起訴されるまで警察署に拘留することになった。

11月27日【**違法薬物**】 未明、ベリーズ市ノース・フロント通り付近において、20代男性が所持規定量（10g）を越える58.6グラムのマリファナを所持していたため、逮捕、起訴された。男性は2026年2月27日までに罰金BZ\$605（約45万円）を支払わなければ4ヶ月の懲役刑となる。なお、この男性は過去にも違法薬物所持の前科があり、当時の罰金は現在も未払いとなっていた。

【その他事件・事故関連】

11月1日【**交通事故**】 未明、オートバイによる死亡事故が2件発生した。1件目はカヨ郡の道路で発生し、死亡した男性はオートバイを運転中にコントロールを失いコンクリート造りの建物に衝突したと報じられている。事故原因が飲酒であるか警察が調査中である。また、ヘルメットの着用有無も現時点では不明である。2件目は同日遅くにベルモパンとダングリガ町を結ぶハミングバード・ハイウェイで発生した。死亡した男性は損傷したオートバイの付近に倒れているところを発見され、捜査官によるとこの男性もオートバイのコントロールを失い道路上に転倒し死亡したとみられる。警察はオートバイによる事故減少のためにも、ヘルメットの着用、速度抑制、警戒心を持って運転することを呼びかけている。

11月11日【**人身売買**】 未明、ベリーズ警察の人身取引防止部隊（ATIPS）はオレンジウォーク町在住の40代の女性を労働目的の人身売買2件と性目的の人身売買2件の容疑で逮捕、起訴した。この女性は中米出身の成人女性2名を取引したとされる。逮捕された女性はBZ\$10,000（約75万円）の保証金と保証人2名を条件に保釈された。また、裁判所の許可無く出国の禁止、直接または間接を問わず、被害者と検察側との接触禁止及び週2度の警察署への出頭を命じた。本件の逮捕は、ベリーズ警察以外に他の政府機関、非政府機関の協力により行われた。